はじめに

本製品はご使用になる前にパソコンで各種設定を行う必要があります。

尚、設定を行わないとライトが点灯しない、録画されない、センサーが反応しないなど、正常に動作しません。

また、設定が完了したあとに電源を切ってしまうと、自動的にリセットされ、再度設定をやり直さなければならなくなります。

設定を行う際は、はじめに設置場所に本製品を設置した後にパソコンにて各種設定を行ってください。

(詳しい設定方法は別紙『WiFi接続方法 パソコン編』および『パソコンによる設定および操作説明』をご覧ください。

本製品を使用までの参考フロー



本製品を設置したい場所に取付け、電源をONに します。



パソコンで本製品の各種設定を行います。 合わせてスマートフォンのWiFi接続も行うと スムーズです。



本製品が設定した通りに作動しているか確認を 行います。正しく作動していれば設定完了です。 不具合がある際は、もう一度設定や接続環境等 をご確認ください。

センサー点灯部について

本製品は動体・人感センサーが搭載されており、センサーが検知すると、 センサー点灯部(図1参照)が赤く点滅、スタンバイ状態では赤く点灯した状態となります。 その際、点灯部は全体が赤く点灯するのではなく、一部が強く赤く点灯するかたちとなります。 つきましては、点灯部全体が点灯していなくても故障ではございません。





製品保証書



この製品保証書は以下の保証規約に基づき、初期不良及び取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に 故障した場合の無償修理・交換をお約束するためのものです。

商品名		センサーライト 防犯カメラ (OL-015/OL-016)						
	お名前				様			
お 客 様	ご住所	Ŧ						
					Ter			
お) (商	買い上げ日 品到着日)	年	月	日	販売店記載欄			
		保証期間	対象	東部分				
初期及び	閉不良保証 『保証期間	1ヵ月	製品	本体				
	領収書/納品書添付欄 (購入先/購入日が判別できるものが必要です)							
■患	品不良事	象記載欄(故障原)	因の早期特	定のため	不良事象は詳細に記載して下さい)			

返品の際は、販売店および購入日がわかるもの(領収書や納品書)及び付属品、外箱等すべて揃っている事が前提となります。 また販売店へお伝えした不良事象を上記にご記入下さい。

【保証規約】

- 保証期間について 保証期間は製品保証書に明記された期間とします。
- ② 製品交換・修理後の保証期間について 製品交換・修理後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日又は、交換修理された製品引渡し後、 5日間の満了日のいずれか長い方とします。

③ 初期不良

製品購入後に不具合があった場合、原則交換させていただきます。製品購入日または製品到着日より、5日以内に販売店へお申し出いただき、上記保証期間内に指定の送付場所へ返送するものとします。

- ④ 初期不良として応じられないもの
 - (ア) 販売店にて不良判断がなされていない場合。(お客様の使用環境による不具合・障害も含む)
 - (イ) お戻し頂いた商品に欠品がある場合。(化粧箱含め全ての付属品が必要です。)
 - (ウ)事前連絡なしに返品された商品
 - (エ) 配送後、商品に傷や破損が生じた商品
 - (オ)譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された場合
 - (カ) 製品保証書・領収書(納品書)の証明がない商品(コピーで可)
- ⑤ 製品故障

ご使用後、製品に不具合が生じた場合、上記保証期間に限り修理または交換させていただきます。不良事象を 販売店へお申し出いただき、上記保証期間内に指定の送付場所へ返送するものとします。

⑥ 保証期間内であっても、次の場合には原則として有償とさせていただきます。

- (ア) ④初期不良として応じられないもので掲げた事項
- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ウ) 製品の設置(取り外し)などにより生じた製品本体への傷・破損がある場合の製品交換
- (エ)火災、地震、水害、落雷、その他付属品以外の取付時の故障及び損傷
- (オ) 製品検査後お客様の過失による製品故障及び破損と判断された場合
- ⑦ 製品検査及び修理

お送りいただいた商品につきましては、メーカー指定の製品検査方法により、不良・故障の判断をさせて頂きま す。なお動作チェックには、2~3日頂く場合もございます。またその結果修理が必要な場合、さらに日数を要 する場合もございますので予めご了承下さい。

【免責事項】

- 1、本製品は、盗難防止器具・災害防止器具ではありません。
- 2、本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害については、一切責任を負い ません。
- 3、製品の設置(取り外し)などにより生じた費用および建物等への損傷やその他の損害について、一切の責任 を負いません。
- 4、地震・雷・風水害および火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、一切の責任を負いません。
- 5、本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害に関して、一切の責任を負いません。

オンロード公式サポートページ http://www.onsquare.jp/service.html



OL-016

製品取扱説明書

WiFi内蔵 センサーライト型 防犯カメラ



ご使用になる前に

本製品はWiFi内蔵のセンサーライト型防犯カメラとなります。従来のセンサーライトおよび防犯カメラの機能に加え、 離れた場所からでも映像の確認や各種カメラの設定や操作を行えるようになっております。 ご使用になる前に以下の環境および設定が必要となります。

1. 無線LAN対応パソコン、無線LANルータ、インターネット接続環境が必要です。

※ご使用のパソコンがWiFi未対応の場合はUSB無線LANアダプタ(別売り)などが必要となります。

2. パソコンによる本体の各種設定※設定を行わないと正しく作動しません。

※別紙『WiFi接続方法パソコン編』および『パソコンによる設定および操作説明』をご参照ください。

□製品基本概要

1 電源

- ■はじめに⑧カバーを開け、⑦microSDカード挿入口にmicroSDカード(別売)を挿入します。
- ■電源を入れるには⑥電源入力端子にACアダプタを接続し、コンセントに差し込みます。④動体・人感センサーが約18秒間小さく赤く点灯した後、 大きく赤く点灯し、待機状態になります。
- ※microSDカードが未挿入、または破損していたり、正しく挿入されていない場合はパソコンでの操作が行えず、正常に動作しません。 ※④動体・人感センサーは待機中は赤く点灯、検知すると赤く点滅します。

2 録画

- ■④動体・人感センサーが検知距離内で人などを検知すると、連動して③カメラが録画を開始します。※録画時間はパソコンで設定します。 録画中は④動体・人感センサーが赤く点滅します。録画されたデータは自動的にmicroSDカードに記録されます。 ※本製品は繰り返し録画機能により、microSDカードのメモリが一杯になると古いデータから順に上書き録画されます。 ※④動体・人感センサーが検知する度に自動で録画を繰り返します。
- ※④動体・人感センサーが検知しなくなると自動的に録画を停止し、待機状態になります。

3 LEDライト点灯

■一定以下の明るさの場所では④動体・人感センサーが検知すると、連動して②LEDライトが点灯します。点灯時間は録画時間と同じです。 ※④動体・人感センサーが検知する度に自動で点灯します。④動体・人感センサーが検知しなくなると自動的に消灯します。

4 取付方法

4

■予め、取付予定位置で設置できることをご確認の上、取付作業を行ってください。 ■設置する際、壁の強度や周辺の状況等、危険がないか十分に確かめ、本品が落下しないようにしっかりと固定してください。







位置にペンなどで印をつけます。

本体正面のネジをはずします。(2ヶ所)







印をつけたネジ穴の位置にドリルなどで約 Φ2mm程度の下穴を開けます。

■ プラスチックアンカーの使用方法



取付金具を付属の取付用ネジで、しっかり 本体と取付金具をネジでしっかりと固定 します。LEDライトの角度などを調整して 設置完了です。

①ドリル等で壁にΦ5.5mm程度の穴を開けます。

⑦プラスチックアンカーを差し込みます。

③取付用ネジで壁面に固定します。

ブロック・レンガ・コンクリート壁などに設置する場合は、コンクリートドリル等で壁に 穴を開けます。その後、付属のプラスチックアンカーを差し込み取付金具を取付用 ネジでしっかりと固定してください。

※プラスチックアンカーを差し込む時に接着剤の併用をおすすめします。

▲ 使用上のご注意

- ●製品や製品箱のデザインは予告なく変更される事があります。
- ●プライバシーの侵害・迷惑防止条例等に抵触する行為には使用しないでください。
- ●輸入品につき、製品箱等にキズ/汚れがある場合がございます。
- ●本製品は録画を目的としたもので、音声につきましては多少聞き取りづらくなっております。予めご了承ください。
- ●本製品が作動しない場合は、microSDカードの挿入およびACアダプタが電源入力端子に接続されており、

と固定します。

- コンセントに差し込まれているかを確認してください。
- ●設置が不十分ですと落下等の危険がありますので、本製品の設置は確実に行ってください。
- ●取付後、本製品がしっかりと固定されていて脱落しないことを必ず確認してください。
- ●安全上、LED電球を直視することはおやめください。
- ●破損・振動・衝撃等のおそれのある場所でのご使用はおやめください。
- ●ベンジンやシンナー等では拭かないでください。
- ●分解や改造をしないでください。

注意・警告 本製品は完全防水ではございません。屋外等の雨がかりのある場所で使用される場合は、



microSDカード挿入口などの記録装置内蔵部およびプラグ等の接続部に防水処理を行う必要があります。

尚、記録装置内蔵部および接続部への浸水等によるショートや火災等の事故についての一切の責任を負いかねます。

■ WiFi接続方法 パソコン編 ■



※USB子機、イーサネットコンバータは別売りとなります。

手順.1 本体とACアダプタを接続し、コンセントに差し込み電源を入れます。

手順.2 本体のWiFiルータとパソコンを接続(windows 7の場合)

パソコン画面下のタスクトレイに表示される 副 左図のようなアイコンをクリックして、ワイヤレス接続の画面を表示します。



2 遠隔操作ソフト『WebCam Client』設定方法

◆ 遠隔操作ソフト『WebCam Client』の設定

ワイヤレス接続で『STK3350 XXXXXX』に接続します。サポートページから「WebCam client」をダウンロードし、 解凍したフォルダの中にある『XXXXClient.exe』を起動します。※『XXXX』には4ケタの数字が割り当てられています。 以下の手順で遠隔操作ソフトにカメラを登録します。

①『Search』ボタンをクリックします。

- ②「Auto Search」ウィンドウから IPアドレス「10.10.10.254」を選択し、 右下の「OK」ボタンをクリックします。 ※「10.10.10.254」は初期IPアドレスです。
- ③「WebCamera Information」ウィンドウが開きます。 NickNameとPasswordに下記内容を入力します。

NickName:※任音の名称 Password: admin

- ④前項『手順.3 ネットワーク接続』でメモした IPアドレスを入力し、「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤登録が成功すると左側の『WebCamera List』に 登録されたカメラのアイコンが表示されます。
- ⑥登録されたカメラのアイコンを選択して、 左下の『Play』ボタンをクリックすると、 右側に映像が映し出されます。

■4画面同時モニタリング可能

同様の手順で複数台カメラを登録することができます。モニターには最大4画面同時に映し出すことができます。

) edain

Search Add



①右下にあるモニター表示切替で 💽	111(1画面表示)から
 2X2 (4画面表示)に切替えま 	す。
②モニタリングしたいカメラを選択しま	す。

③映し出す画面を選択します。

(左上:Panel1/右上:Panel2/左下:Panel3/右下:Panel4)



④『Play』ボタンをクリックすると選択した画面に映し出されます。

外出先からのモニタリング方法

本製品はご自宅のパソコン以外に外出先などのパソコンからでもモニタリングが行えます。モニタリングを行うための設定は以下になります。 図1 Video |

1. カメラの電源を入れます。

- 2. ご自宅のパソコンを起動し、 遠隔ソフト『WebCam Client』で各種カメラの設定を行います。 ※設定方法は別紙『パソコンによる設定および操作説明』を ご参照ください。
- 3. 外出先のパソコンを起動します。 パソコンに付属ソフト「WebCam_client」フォルダをコピーし、 『XXXXClient.exe』を起動します。 ①「Add」ボタン(図1)を押します。 ②NickNameとPasswordの他に 「TUTKID(本体裏側にある20ケタの英数字)」と 「TUTK Password (888888)」、 「Net Address」の入力が必要となります。 事前に確認し、メモなどして控えておいてください。



4. 図2の『Network』を「P2P」に設定し、「Play」ボタンをクリックすると映像が映し出されます。







3 パソコンによる設定および操作説明

はじめに、カメラをご使用になる前にパソコンで各種設定を行う必要があります。 はじめに設定したいカメラを選択し、右クリックします。 図1 view

-VebCamera List

Remote File

Delete

Remote Control

0

はじめに設定したいカメラを選択し、右クリックします。 すると図1のように4つの項目が表示されます。 項目の上から3つ目にある『Remote Control』を選択します。 すると下記の遠隔操作のウィンドウ(図2)が開きます。

以下は各種設定および機能操作の説明になります。

図2



① SnapShot 【静止画撮影】

『Shutter』ボタンをクリックすると、静止画が撮影され、画像データがmicroSDカードに保存されます。

SnapShots【インターバル静止画撮影】

「Repeat Interval」のスライドバーで時間間隔を設定し、『Sutter』ボタンをクリックすると、設定した時間間隔で自動的に静止画の撮影を繰り返し行います。時間間隔は1s(秒)~30s(秒)の間で設定できます。画像データはmicroSDカードに保存されます。

③ REC 【手動による録画開始・停止】

『Start Rec』ボタンをクリックすると、録画を開始します。録画時間は⑤Record Time【録画時間】で設定した時間となります。 録画中は『Start Rec』ボタンが『Stop Rec』ボタンに変わり、『Stop Rec』ボタンをクリックすると、設定した録画時間内であっても停止することができます。 また、動体・人感センサーの検知連動による自動録画が行われている最中であっても『Stop Rec』ボタンをクリックすれば録画を停止することができます。

④ Password 【パスワード変更】

こちらは未対応となっております。ご了承ください。変更はスマートフォンにて行ってください。

5 Record Time【録画時間】

30s(秒)/1Min(分)/2Min(分)/10Min(分)/30Min(分)の5つから録画時間を設定できます。

⑥ Detection Mode 【検知センサー設定】

「Motion:動体」、「IR:人感」の設定ができます。作動させたい検知センサーのボックスにチェックを入れ選択します。 「Motion Sensitivity」のスライドバーでセンサーの感知感度の調節ができます。数値が高いほど、検知感度が高くなります。

⚠注意・重要

昼間は「Motion:動体」、夜間は「IR:人感」にて設定してください。 ※検知センサーの切替は手動によるパソコンでの操作が必要となります。 ※「Motion:動体」検知は夜間などの暗い場所では検知しずらくなります。

※昼夜外出される場合、または旅行などで数日留守にされる場合は「IR:人感」に設定することをおすすめします。

◆補足◆

∧ご注音

設定完了後に本体の電源を切って

しまうと、設定がリセットされます。

設定を行う際はご注意ください。

※センサーが作動している間には、クリックできません。

「Motion:動体」は人や物の動きによる明るさの変化に反応するセンサーです。夜間「Motion:動体」に設定 するとセンサーライトの点灯・消灯による明暗を人などの動きと誤認し、常にセンサーライトが点灯・消灯を繰り 返してしまいます。「IR:人感」は人などが発する温度変化を赤外線により検知するセンサーです。 明るさに関係なく検知することができるので、特に夜間など、動きが認識しづらい場面に適したセンサーです。

⑦ DateTime【日時設定】

⑥の検知センサーを切った状態で設定を行ってください。※検知センサーが入った状態でも設定可能ですが、切った状態の方がよりスムーズに行えます。 設定したい箇所をクリックすると数字が選択され、変更できます。また、右端の▼をクリックするとカレンダーが表示され、月、日の変更ができます。 ※日時設定を行っても表示時間が日本時間より1時間遅れて表示される場合があります。輸入商品につきで了承ください。

図1

図3

RW

PICTO

PICTO PICTO PICTO PICTO

PICTO

PICTO: PICTO:

PICTO

PICTO

⑧ Voice【音声】

こちらは未対応となっております。ご了承ください。

9 Frequency 【電波速度】 50Hz、60Hzの選択ができます。

 Parameters 【画質調節】 Contrast(コントラスト)、Satur(彩度)、 Bright(明るさ)の調節ができます。

¹⁰ Revolution 【録画動画サイズ】

HD (1280×720)、VGA (640×480)、QVG (320×240)の 3つから選択できます。

¹² FrameRate 【フレーム数設定】

動画のフレーム数(表示速度)を設定できます。 スライドバーで最少5fps〜最大30fpsまで変更できます。

記録データのコピー&削除

①まず、動体・人感の両センサーをOFFにします。 データを確認したい登録カメラのアイコンを右クリックします。 表示される項目(図1)の上から2つ目の『Remote File』を選択します。 ※検知センサーが作動していると操作が行えません。

②別ウィンドウ(図2)で記録データの一覧が開きます。

③選択したデータを右クリックすると図3の項目が表示されます。 データは以下の再生、コピー、保護、削除の4つの操作ができます。

データの再生・確認
 『Open Local Video』を選択します。
 パソコンにコピーしたデータを再生・閲覧することができます。
 ※パソコンにコピーしていないデータは再生・閲覧ができません。

2. データのコピー 『Download Video』を選択します。 保存先(図4)を指定し、「OK」をクリックすると記録データが ダウンロードされ、パソコンにコピーされます。

3. データの保護 『Protect File』で選択したデータを保護することができます。

4. データの削除 『Delete Video』で削除することができます。



① Restore Default / Save Default【初期設定・変更設定】

※センサーが作動している間には、設定を保存できません。

尚、正しく設定が保存された際には、図2の¹³-Aに

『Save Default』ボタンで各種設定した内容にて保存されます。

図2

『Restore Default」ボタンで初期設定に戻ります。

『save default complete』と表示されます。

. 912	S brail	Cheview Det	nah List 🖉 Sala	- A3				
п	711.057						1.00	
L L I		713+Rate			File Size			
п	58	P2000451.891	2004/07/07	13123124	40.33 8	New		
	58	PRODUKE. MT	2004/07/07	13:22:54	42,42 8	See .	3	
	57	PRODUKS. MT	3004/07/07	13/24/25	40.8T B	See.		
	57	P2000184.WT	3004/07/07	13/24/58	30.34 8	See.		
	5.0	PROTOLNE, MT	3004/01/01	18/28/28	35.17 8	See.		
	5.0	PROTOCOM. NTT	3004/h1/h1	18/26/20	30.83 8	Tree .		
	1.1	PECTICAL MIX	2004/h1/h1	18126194	30.82 8	Tran .		
	1.1	PROTOCOL MIL	2004/h1/h1	10127168	31.31 8	Trans.		
	1.1	PROTOCOM. NTT	2004/h1/h1	10120128	35,50 8	Trans.		
	1.1	F2070540.411	2004/01/01	18128156	25,82 8	Tran .		
н	2.0	FECTION 1. WI	2004/01/01	18:29:28	32,95 8	Zone .		
	2.9	FECTORE, MT	2004/01/01	18:30:28	25.51 8	Xue .		
- 14	24	FECTORES, MT	2004/01/01	18130158	25,22 K	Xua		
18	28	FECTION AND	2004/01/01	18:00:00	54.90 K	Nue		
	28	FECTIONS, MT	2064/01/01	13:30:10	25, 95 8	Nus		
	28	FECTION. NT	2064/01/01	131002142	35,16 8	Non		
	28	FICTORST. WIT	2064/01/01	13:33:13	35,55 8	New		
	28	FICTURE AT	2064/01/01	13:33:50	05.00 K	No.		
	10	REPORTED NOT	0044.00.00	10-14-14	NO. 10. N	Marca .		

			図4	
57.AVI	2014/	07/07	下板配置 意授终端 admirSerial:14151919A8	
5B. AVI Open Lo Downlos	2014/ not.4./ ocal Video ad Video	07/07 07 07 07	Download Path Toppare_EIVDexistop#14000003AS Download Method: C Continue C New Download	Select Path
Protect Delete	File Video	07 07	06	Gance
65. AVI	2014/	07/07		

4 WiFi接続方法 スマートフォン編

【iPhone】での手順

P2PCamLive

手順.1 本製品の電源を入れる

手順.2 専用アプリケーションをインストール

専用アプリケーション『P2PCamLive』をインストールします。 ※App Storeからダウンロード

手順.3 スマートフォンと本体WiFiルータを接続

スマートフォンと本体のルータを接続します。 スマートフォンのWiFi設定にて以下の内容で接続します。

ネットワーク名:STK3350 XXXXXX パスワード:888888888

※本体ルータ名は『STK3350_』ではじまる名称となっております。

手順.4 『P2PCamLive」の設定

『P2PCamLive』を起動します。 画面下にある () マークをタップします。 カメラ流行

②画面上部の「Add(手入力)」もしくは「QRCode(QRコードをスキャン)」 にて以下の内容を入力します。



UID:本体裏面にある20ケタの英数字 ORコードで読み込み可能 パスワード:888888

成功すると下記のように登録されたカメラのリストが表示されます。 タップすると、モニタリング画面になります。





登録カメラリスト





【Android OS】での手順

P2PCamLive

•

専用アプリケーション『P2PCamLive』をインストールします。 ※Google Playからダウンロード

手順.3 スマートフォンと本体WiFiルータを接続 スマートフォンと本体のルータを接続します。 スマートフォンのWiFi設定にて以下の内容で接続します。

ネットワーク名:STK3350 XXXXXX パスワード:8888888888

※本体ルータ名は『STK3350_』ではじまる名称となっております。

手順.4 『P2PCamLive」の設定

手順.1 本製品の電源を入れる

『P2PCamLive』を起動します。 ①「Click here to add camera」をタップします SP2PCamLive ②画面上部の「Add (手入力)」もしくは ■↓ クリックしてカメラを追加 「ORCode(ORコードをスキャン)」 にて以下の内容を入力します。





UID:本体裏面にある20ケタの英数字 ORコードで読み込み可能 パスワード:888888

成功すると下記のように登録されたカメラのリストが表示されます。 タップすると、モニタリング画面になります。



5 スマートフォン操作説明

【iPhone】での場作説明	以下はスマートフォンでの各種機能の操作説明とな	なります。設定画面へは下記の手順で進みます。
(IFIIOIIE) との採行説明 となっております。 【Android】とは多少内容 が異たります	【iPhone】はこちら (iPhone】はこちら Pot Mar Shave Mer March	▶ 「詳細設定」をタップ
か <u>異なります。</u>	[Android OS]はこちら デ Camera PRICTAREBUNEPHUTCI タップ C	▶ 「カメラ設定」をタップ ▶ 「詳細設定」をタップ
۰۰۰۰۰۰ (۱	① ライブ視聴(モニタリング情報)	② リアルタイム映像
••••• au 🌣 16:15 🛞 601% 🔳 🔿	電波状況、動画サイズ等の情報が表示されます。	リアルタイムの映像が確認できます。
カメラ 戻る ライブ視聴	③ 日時表示	④ ギャラリーマーク
オンライン 640x480 接続デバイス数: 1 1 品質:良い	日時が表示されます。変更できません。	➡ 左のマークをタップすると、⑤の写真撮影機能で 撮影した写真を確認できます。
	⑤ 写真撮影機能	⑥ 音声マーク
2		◀ マイクおよびスピーカー機能:マイクON/OFFのみ有効
	⑦ セキュリティーコード	⑧ ビデオ品質
	パスワードの変更が行えます。	「最高」、「高」、「中」、「低」、「最低」の5段階から選択可能。
4 6 3 ■ 0 4 ₹12 OFF 3	⑨ ビデオ反転	画像917×61 版局」か(1280×720)、 「高」以下は全て【640×480p】となります。
	「通常」、「上下反転」、「左右反転」、「上下左右反転」の 4段階あるが、「通常」、「上下反転」のみ対応。	⑩ 環境モード
機能一階	① 無線LAN	屋内モード(50Hz)」、 屋内モード(60Hz)」、 屋外モード」、「暗視モード」の4段階あるが、 屋内モード(50Hz)」、「屋内モード(60Hz)」のみ対応
••••• au ♥ 16:19 ⊕ 64% ■	ローカルネットワークのWiFi接続の設定・変更が可能。	
戻る 詳細設定	③ 録画モード	
)セキュリティーコード >	「オフ」、「常時録画」、「動体検出連動録画」の3項目あるが、 「動体検出連動録画」のみ対応。	「オフ」は未対応。
)ビデオ品質 高 >	1	⑭ SDカードのフォーマット
ビデオ反転 通常 >		本体のmicroSDカードを初期化できます。
)環境モード 屋内 (50Hz) >	(1) テハイス情報 デバイス(本体)の情報を確認できます。	
無線LAN AirPort01608 >	(1) イベント(ベルマーク)	
動休給出 高 >	本体のmicroSDカードに記録された	6 カメラ 戻る イベントリスト
100 PT (X)44	データを再生できます。	(1) 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
録画モード 動体検出連動録画 >	※丹土 りみ ビコヒー なとは ぐさません。	常時録画 > 2015/03/18 11:40
SDカードのフォーマット >	尚、イベントリスト画面の左下にある「検索」から 下記範囲での記録データの検索ができます。	ページャング 常時録画 > 2015/03/18 11:41
テバイス情報 >	「1時分を表示」、「半日分を表示」、「本日分を表示」、	記録データの一覧が表示されます。 見たいデータを選択すると再生されます。
	「範囲指定検索」 ※Android端	末は未対応となっております。ご了承ください。

インターネット環境での使用方法

本体とスマートフォンのWiFi接続のみでは、限られた狭いエリアでのご利用となります。本製品をインターネットに接続することで、 ネット環境のある場所であれば、通常の通信電波(3G、4Gなど)でいつでもどこでも遠隔操作が可能となります。 尚、本体とネットワークの接続方法につきましては別紙『WiFi接続方法 パソコン編』をご参照ください。





一度ネットワーク接続すれば、パソコンを起動していなくても、どこでも スマートフォンで操作可能です。